

2023 年 3 月 23 日

山形県産「啓翁桜」の香港への輸出について

東北経済連合会（会長：増子次郎 以下、当会）では、九州経済連合会が立ち上げを主導した地域商社「九州農水産物直販株式会社（以下、九直）」と連携し、東北・新潟の農林水産物・食品の輸出拡大に取り組んでいます。

このたび、山形県産の啓翁桜（245 ケース/1 ケース 20 束）が九直を通じて、2 月 24 日から 3 月 10 日の 5 回にわたり香港に輸出され、日系大手のイオンストアーズ香港の各店舗で販売され好評を得ましたのでお知らせします。

山形県は、日本一の啓翁桜の出荷量を誇り、栽培に適した気候と長年培われた栽培技術を活かし、12 月中旬から 3 月下旬まで、冬に花を咲かせる観賞用の切り枝として出荷しています。啓翁桜は、年末年始をはじめ、卒業式や入学式など春先の需要が多く、近年は香港（中華圏内）の春節（2023 年は 1 月 22 日）向けとして人気を博しています。

今回の輸出は、当会の輸出事業の協力先である、JA 全農山形と九直を結びつけることにより実現しました。啓翁桜の輸出は、当会の輸出事業としては初めてになります。今回の輸出を通じて、九直小田保社長は「私共にとっても“花き”の輸出は初めてのことであり、その最初に国花でもある桜を輸出できたのは大変うれしく思っております。来シーズンは、より早く啓翁桜の提案営業を展開して、さらなる輸出拡大に努めていきたいと考えております」と話しています。

JA 全農山形は、「香港で啓翁桜の人気が高まっていると聞いていたが、春節後も安定した需要があることがわかった。今回は強い要望があって試験的に輸出を行ったが、次年度は計画的に原料調達を行い、さらなる拡大をはかっていきたい」と話しています。

当会では、引き続き、魅力ある東北・新潟産品の輸出拡大に取り組み、当会のビジョン「わきたつ東北」実現の加速化につなげてまいりたいと考えております。

以 上



写真：＜イオンストアーズ香港様での陳列の様子＞

【本件担当】

（一社）東北経済連合会 食・観光グループ 櫻庭
電話：022-397-7063

(添付資料)

1 案件の概要

品目	啓翁桜
ロット	合計 245 ケース (1 ケース 20 束)
出荷者	JA 全農山形
輸出商社	九州農水産物直販 株式会社
輸出先	イオンストアーズ香港
スケジュール	2月24日(金) 羽田空港発 35 ケース (700 束) 3月01日(水) 羽田空港発 35 ケース (700 束) 3月03日(金) 羽田空港発 70 ケース (1,400 束) 3月08日(水) 成田空港発 35 ケース (700 束) 3月10日(金) 成田空港発 70 ケース (1,400 束) 合計 245 ケース (4,900 束) ※山形県からトラックで前日に発送。

2 東北経済連合会のこれまでの輸出支援実績について

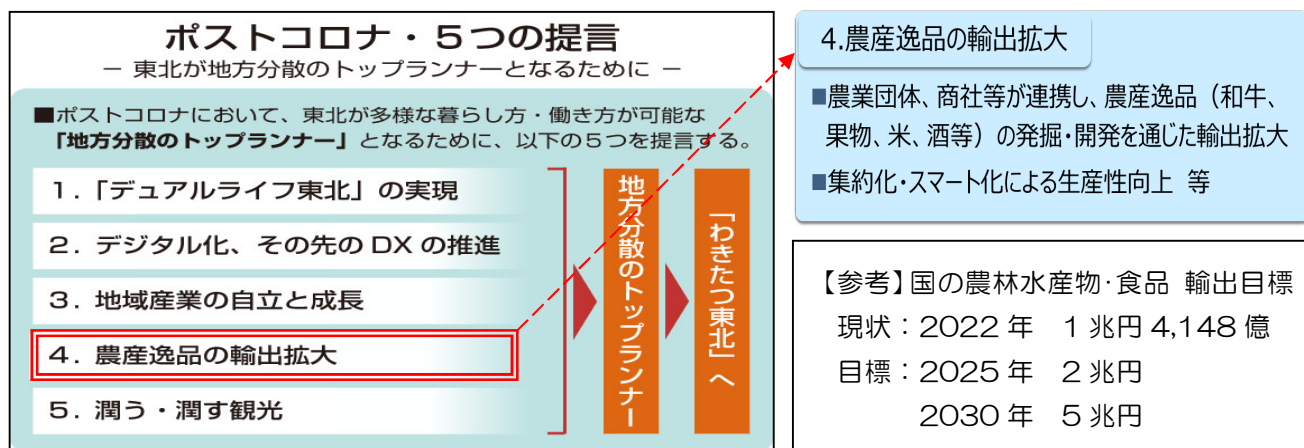
産地	品目	輸出先	年月	量
青森県	モモ	香港	2021年8月	96 ケース (1 ケース 5~6 玉)
	モモ	香港	2022年8月~9月	合計 384 ケース (1 ケース 5~6 玉)
	鶏卵	香港	2022年3月	608 ケース (1 ケース 15 パック)
宮城県	サツマイモ	香港	2021年2月	300 ケース (1 ケース 10kg)
	サツマイモ	香港	2021年4月	300 ケース (1 ケース 10kg)
	サツマイモ	香港	2021年11月~ 2022年3月	約 120 トン (1 ケース 10kg 約 12,000 ケース)
	サツマイモ	香港	2022年11月~ 2023年3月	約 100 トン (1 ケース 10kg 約 10,000 ケース)
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2021年10月	22 ケース (1 ケース 40 パック)
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2022年9月	22 ケース (1 ケース 40 パック)
	キャベツ	香港	2021年11月	630 ケース (1 ケース 8 玉)
秋田県	枝豆	香港	2022年9月	50 ケース (1 ケース 20 袋)
山形県	メロン	香港	2019年7月	300 ケース (1 ケース 5 玉)
	メロン	香港	2021年7月	48 ケース (1 ケース 5 玉)
	メロン	香港	2022年7月	合計 100 ケース (1 ケース 4 玉)
	メロン	香港	2022年7月	合計 200 ケース (1 ケース 5~6 玉)
	啓翁桜	香港	2023年2~3月	合計 245 ケース (1 ケース 20 束)

3 東北経済連合会の輸出事業の概要

【輸出事業の位置付け】

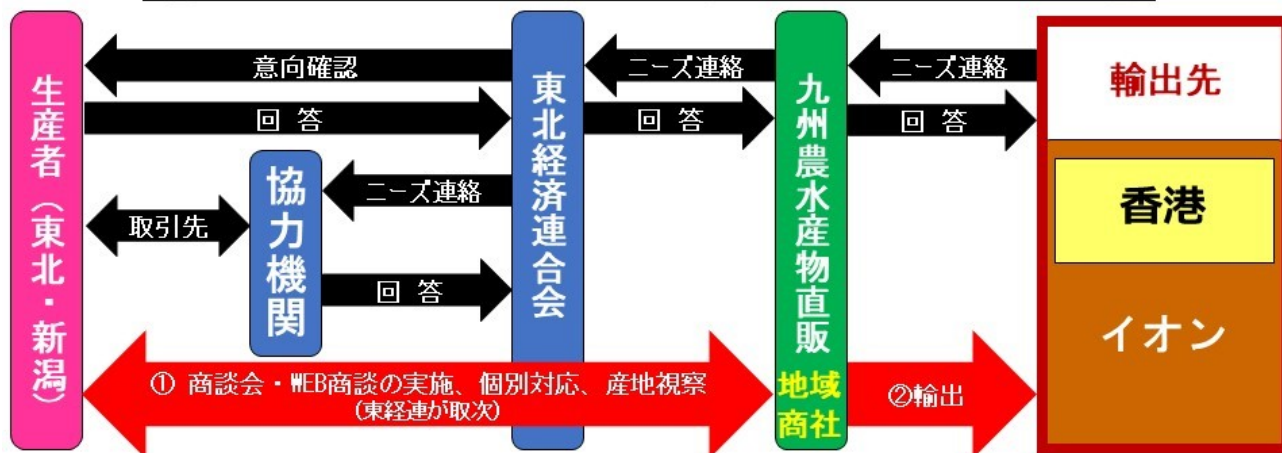
・東北経済連合会では、「ポストコロナ・5つの提言」に掲げる「提言4. 農産逸品の輸出拡大」に向けて取り組みを展開している。

・輸出拡大は、人口減少下で地域経済の縮小が見込まれる中、東北・新潟の基幹産業の一つである第一次産業の活性化により、所得の向上や雇用の確保を図り、地域経済の活性化に資するものと考えている。



【事業スキーム図】

【東北と九州が連携した輸出事業スキーム】



東経連の役割

- ・海外の二一ズに対して、東北・新潟域内の生産者・商品の選定と紹介
- ・東北・新潟域内生産者と九州農水産物直販との商談の設定

【参考1】九州農水産物直販株式会社

会 社 名	九州農水産物直販株式会社
代 表 者	小田 保（元九州経済連合会 農林水産部長）
所 在 地	福岡市博多区博多駅前2丁目12番10号
設 立	2015年8月28日
資 本 金	1,890万円
業 務 内 容	農水畜産物の輸出入ほか
株 主	JA宮崎経済連、麻生、JR九州、九電工、エスジーグリーンハウス、日本通運、三井住友信託銀行

【参考2】JA全農山形について

名 称	全国農業協同組合連合会 山形県本部（JA全農山形）
代 表 者	長谷川 直秀
所 在 地	山形県山形市七日町3丁目1番16号
設 立	2001年4月1日
出 資 金	115,253百万円（全国農業協同組合連合会）
業 務 内 容	生産者の営農とくらしを支援し、農業と地域の活性化を図るとともに、安全・安心な農畜産物を消費者に安全的に供給すること。

【参考3】イオンストアーズ香港

会 社 名	イオンストアーズ香港（本社：香港）
主 要 株 主	イオン株式会社
創 業	1985年
年 商	約1,480億円 ※中国本土・香港エリア合計
店 舗 数	123店舗 ※2022年12月末時点
うち GMS・SM 店舗	48店舗（香港12店舗）※2022年12月末時点
業 種	小売業

以 上